

長崎県水産業振興基本計画

令和3年度－7年度

多様な人材が活躍し、
環境変化に強い持続可能な水産業と
賑わいのある漁村づくり

はじめに

長崎県は、九州の西北端に位置し、多くの島々や九州西方を北上する対馬暖流、複雑な海底地形により好漁場が形成され、内湾から沖合の海域では多種多様な漁業や養殖業が営まれています。

本県の海面漁業・養殖業の生産量は31万4千トン、産出額は996億円で、ともに全国第2位(平成30年)となっており、水産業は、造船、流通及び加工業等の幅広い関連産業を支え、地域の経済・社会の維持に大きな役割を担う重要な基幹産業であります。

これまで県では、「長崎県水産業振興基本計画」に基づき、本県独自の「地域別施策展開計画」により、効率的かつ重点的に、担い手の確保育成や漁業者の所得向上などの関係施策を展開してまいりました。しかし、水産業を取り巻く環境は、漁業資源の変動、就業者の減少や高齢化などに加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大変大きな影響を受けており、厳しい状況に直面しております。

こうした社会情勢の変化などに対応するため、県では「人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く力強い長崎県づくり」を基本理念として、「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」を策定いたしました。その個別計画として、県内各地区での漁業関係者との意見交換会の他、漁業者や加工業者、大学関係者らで構成する「長崎県水産業振興基本計画検討委員会」のご意見等を踏まえるとともに、県議会においても十分にご議論をいただき、新たな「長崎県水産業振興基本計画」を策定いたしました。

今後は、計画の基本理念である「多様な人材が活躍し、環境変化に強い持続可能な水産業と賑わいのある漁村づくり」に向け、市町、漁業団体、そして、漁業者の皆様方と一体となり、力強い水産業の実現に向けて全力を注いでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました多くの方々に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月
長崎県知事 中村 法道

